

79～80 頁

研究大会要旨。日本のシェイクスピア受容について論じた。従来の日本シェイクスピア受容史の考え方と違い、単なる受容の歴史をまとめるだけでなく、映像のシェイクスピアや蜷川幸雄演出のシェイクスピア劇上演なども積極的取り上げ、その変容振りを明らかにした。また、受容状況には作品研究への偏りがあり、問題点としては、上演研究や演出研究が日本ではまだ不十分であることを指摘した。(A5)